

(12) 非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	時間数
子どもの学びとこころのケア科目運営部会	30
子どもの学びとこころのケア科目運営部会	30
教育と社会問題運営部会	30
教育と社会問題運営部会	30
学校臨床研究	30
学校臨床研究	30
学校臨床研究	30
臨床心理学	30
臨床心理学	30
特別支援教育	30
社会系	30
自然系(数学)	30
芸術系(音楽)	30
芸術系(音楽)	30
芸術系(美術)	30
生活・健康系(保健体育)	30
生活・健康系(技術)	30
生活・健康系(家庭)	30
生活・健康系(学校ヘルスケア)	30
生活・健康系(学校ヘルスケア)	30
教育実践リーダー学校運営リーダー	60
教育実践リーダー学校運営リーダー	60
学校運営リーダー	30

イ 学校教育学部

授業科目名	時間数
社会教育計画A	30
社会教育計画B	30
社会教育演習 I	30
社会教育演習 II	30
博物館資料論	30
学校図書館メディアの構成	30
教育方法学	30
生涯学習概論B	30
学習臨床開発論	30
比較教育改革史	30
家庭の教育と育児	30
社会福祉 I	30
社会福祉 II	30
養護内容	30
子どもの福祉	30
保育・健康の指導法	30
身体表現の基礎	30
漢文学講読	30
英文学演習	30
比較文化	30
地誌学概説	30
哲学概説	30
社会学概説	30
日本前近代社会史認識論	30
歴史・民俗資料演習	30
算数	30
幾何学概論	30
微分積分学	30
音楽	45
合奏B	30
独唱Ⅲ	30
美術史論	30
体育哲学	30
中等保健科指導法(基礎論)	30
金属加工法	30
住居学(製図を含む。)	30
被服学	30
生活経営 I (家庭経済学を含む。)	15

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く）

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
総合・生活科指導法	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	12
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	10
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	2
中等国語科指導法（授業論）	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法（課程論）	中学校の国語科授業におけるカリキュラム開発について実践的な立場から説述する。	2
中等国語科指導法（学習論）	中学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	2
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	12
数学科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際	6
中等家庭科指導法（教材論）	中学校家庭科の教育現場における教材について、紹介、指導、助言を行う。	2
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。	24
中等技術科指導法（課程論）	技術科のカリキュラム開発と実践	12
中等技術科指導法（基礎論）	技術科教材研究の実践に関する基礎論	10
初等音楽科指導法	初等音楽科教育における学習指導法などの理解を深める	14
中等音楽科指導法（授業論）	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす	4
中等音楽科指導法（学習課程論）	中等音楽と初等音楽とのつながりを考える	4
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす	12
総合演習（学校と食の教育）	人と食との関係を総合的に理解すると共に、学校での食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。また、食に関する指導の実践例の紹介を通じて食の教育への理解をより深める。	6
総合演習（学校と食の教育）	人と食との関係を総合的に理解すると共に、学校での食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。また、食に関する指導の実践例の紹介を通じて食の教育への理解をより深める。	6
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
特別支援教育基礎 （介護等体験の指導内容を含む）	特別支援教育における指導及び社会福祉施設の概要、介護等体験の主旨について論述する。	8
初等体育科指導法	体育科教育における現場からの指導助言	16
図画工作科指導法	図画工作科の教科内容の理解や実際の指導法などの習得を目指す。	18

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
総合・生活A	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	2
総合・生活B	生活科・総合的な学習の時間を指導する際、教員志望者に求められる、必要不可欠な知識・技能の基礎的な研究、研究方法を、豊富な事例をもとに習得する。	12
家庭の教育と育児 （H21年度以前入学者用）	乳幼児の教育・保育について実践的な理解を深める。家庭の子育てをめぐる諸問題や子育て支援、保育所における3歳未満児の教育・保育を対象とする。	6
家庭の教育と育児 （H22年度以後入学者用）	乳幼児の教育・保育について実践的な理解を深める。家庭の子育てをめぐる諸問題や子育て支援、保育所における3歳未満児の保育について具体的な事例に基づいた論議と考察を行うとともに、実践的な技能を習得する。	8
実践セミナーⅠⅡ「家庭」、及び実践場面分析演習ⅠⅡ「家庭」	中学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。	2
実践セミナーⅠⅡ「家庭」、及び実践場面分析演習ⅠⅡ「家庭」	小学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。	4

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業 時間数
保育実習Ⅰ	保育所実態と具体的な指導法の理解を図る。	4
保育実習Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
保育実習Ⅱ	母子生活支援施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
介護等体験(社会福祉施設)	特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けての授業の質的充実のため	124
教育実地研究Ⅳ (中等教育実習)	教育実習の事前・事後指導にかかわる授業の質的充実のため	14

③ ティーチングアシスタント

修士課程学生

授業科目名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
体験学習・共通	五百川 他	通年	不定期	30	時間
体験学習A	渡辺 他	通年	不定期	30	時間
体験学習B	五百川 他	通年	不定期	30	時間
体験学習D	長谷川正 他	通年	不定期	30	時間
体験学習E	東原 他	通年	不定期	30	時間
体験学習F	安部泰 他	通年	不定期	30	時間
ウォータースポーツ	清水富	前期	集中	30	時間
コミュニケーション英語A I・B3B4	大場浩	前期	木2	30	時間
コミュニケーション英語A I・D3D4	大場浩	前期	金2	30	時間
中国語・中国事情	黎	前期	月3	30	時間
表現・相互行為教育演習	松本健 他	前期	火1	15	時間
表現・相互行為教育演習	松本健 他	前期	火1	15	時間
音楽	平野俊 他	通年	木3	46	時間
図画工作A	洞谷 他	前期	金3	30	時間
図画工作B	洞谷 他	前期	木1	30	時間
図画工作C	洞谷 他	前期	火3	30	時間
図画工作D	洞谷 他	前期	木4	30	時間
算数科指導法AB	高橋等, 伊達	前期	木2	15	時間
算数科指導法CD	高橋等, 伊達	前期	火2	15	時間
初等音楽科指導法AB	時得, 尾崎	前期	月2	30	時間
初等音楽科指導法CD	時得, 尾崎	前期	木2	30	時間
初等体育科指導法A	周東 他	前期	月1	30	時間
初等体育科指導法D	周東 他	前期	水1	30	時間
初等家庭科指導法AB	得丸, 佐藤ゆ	前期	火2	15	時間
初等家庭科指導法CD	得丸, 佐藤ゆ	前期	火1	15	時間
栽培法	山崎	前期	木3	30	時間
食生活論	立屋敷	前期	木1	30	時間
電気工学実験実習	川崎	前期	木4	30	時間
夏季野外運動(カヌー)	清水富	前期	集中	30	時間
造形基礎AC	安部 他	前期	月5	30	時間
指揮法	長谷川正	前期	木5	30	時間
地域調査法B	赤羽 他	前期	集中	16	時間
書写書道Ⅱ	押木	前期	月3	30	時間
心理学実験	森口	前期	木3.4	30	時間
地学実験	大場孝 他	前期	月4.5	30	時間
造形基礎BD	西村 他	前期	月4	30	時間
デザインワークⅡ	安部	前期	月3.4	30	時間
工芸表現B	高石	前期	木4	30	時間
日本画表現	洞谷	前期	火4	30	時間
総合演習(学校と食の教育)	立屋敷	後期	月5	30	時間
スノースポーツ	市川 他	後期	集中	30	時間

授業科目名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
保育・表現の指導法	香曾我部 阿部靖	後期	金2	30	時間
教育情報演習A	井上	後期	月4	30	時間
教育情報演習B	大森	後期	金3	30	時間
教育情報演習C	高野	後期	月3	30	時間
教育情報演習D	石川	後期	木2	30	時間
表現・状況的教育方法演習	高石 他	後期	月5	30	時間
冬季野外運動(スキー)	市川	後期	集中	30	時間
被服製作の理論と実習	佐藤悦	後期	火3.4.5	30	時間
調理の理論と実習	立屋敷	後期	火3.4.5	30	時間
物理学実験	定本, 長谷川敦	後期	月3.4	30	時間
計算機数学演習	中川	後期	木4	30	時間
カウンセリング基礎演習	山本隆	後期	水2	30	時間
書写書道 I	押木	後期	月2	30	時間
木材機械加工法	東原	後期	月4	30	時間
機械工学実習	黎	後期	木4	30	時間
彫刻表現 I	松尾	後期	木5	30	時間
生物学実験	谷, 小川	後期	木4.5	30	時間
食科学実験A	光永	後期	月4.5	30	時間
伝統絵画表現と鑑賞	洞谷, 伊藤将	後期	火5	30	時間
デザインワーク I	安部	後期	木3	30	時間
油彩画表現	伊藤将	後期	火4	30	時間

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授業科目名	担当教員	学期	曜日・時限	希望時間数
国語(書写を含む。)	押木	前期	集中	30時間
社会	山縣 他	前期	火5	30時間
音楽	阿部亮 他	通年	月6	45時間
図画工作	洞谷 他	前期	木6	60時間
家庭	佐藤悦 他	前期	月2	30時間
道徳の指導法	林	前期	金6	30時間
特別活動論	橋本	前期	金1	30時間
学力診断論	奥村	前期	木1	30時間
初等理科指導法	小林辰, 稲田	前期	火6	30時間
初等音楽科指導法	時得, 尾崎	前期	火2	30時間
初等体育科指導法B	周東 他	前期	月1	30時間
初等体育科指導法C	周東 他	前期	水1	30時間
初等家庭科指導法	得丸, 佐藤ゆ	前期	木6	30時間
理科	小林辰 他	後期	月2	30時間
体育	大橋 他	後期	火5	8時間
体育	大橋 他	後期	火5	8時間
体育	大橋 他	後期	火5	8時間
体育	大橋 他	後期	火5	6時間
算数科指導法	布川, 宮川	後期	水6	30時間
図画工作科指導法	阿部靖, 五十嵐史	後期	木6	30時間
生徒指導論	安藤, 稲垣	後期	月1	15時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 他	後期	木2	60時間
進路指導・キャリア 教育論	白木	後期	月1	15時間
日本国憲法	小島	後期	水1	30時間

⑤ リサーチ・アシスタント

任 用 期 間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
平成23年6月1日 ～平成24年3月31日	200時間	溜め込み状態に対する実態研究	学校教育研究科	五十嵐 透子 教授
平成23年6月1日 ～平成24年3月31日	200時間	図画工作科における協同型学習の教材開発に関する研究	学校教育研究科	西村 俊夫 教授
平成23年6月1日 ～平成24年3月31日	200時間	先端技術の教材化と標準モデルの開発・評価	学校教育研究科	川崎 直哉 副学長 (教授)
平成23年6月1日 ～平成24年3月31日	200時間	世代間交流におけるマインドフルネスストレス軽減法の実践とその評価	学校教育研究科	得丸 定子 教授